

過軍ヲ市政開始

露獨同盟を企畫す

南露政府承認

佛國政府の宣言

對露講和益困難

露獨同盟を企畫す

ハ市に獨立政府

露獨同盟を企畫す

米艦隊黑海派遣

露獨同盟を企畫す

希臘に騷亂勃發

露獨同盟を企畫す

波蘭代表ミンスク着

露獨同盟を企畫す

歐洲労働者焦慮

露獨同盟を企畫す

東三省擾亂陰謀

王日本に亡命

朝鮮電報回復

東部救済二百萬圓

市場許可證

結算最高額部選

新銀行團通牒

東支沿線支軍活動

農業統一機關設置

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

漢江の洪水及治水策

本間孝義氏

總督府豫算

略出摘

綿絲布界近況

略出摘

炭價直下協議

船運運送業も参加

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

漢江の洪水及治水策

本間孝義氏

總督府豫算

略出摘

綿絲布界近況

略出摘

炭價直下協議

船運運送業も参加

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

漢江の洪水及治水策

本間孝義氏

總督府豫算

略出摘

綿絲布界近況

略出摘

炭價直下協議

船運運送業も参加

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

漢江の洪水及治水策

本間孝義氏

總督府豫算

略出摘

綿絲布界近況

略出摘

炭價直下協議

船運運送業も参加

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

漢江の洪水及治水策

本間孝義氏

總督府豫算

略出摘

綿絲布界近況

略出摘

炭價直下協議

船運運送業も参加

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

支那國會中止

支那國會中止

關稅令改正に就て

支那國會中止

於京城公會堂本社主催講演會

毒手を脱する迄

終始血に汗に彩られたる
大朝特派員中平氏苦心談

從軍許可證と

ヒストルを見

軍政府の

軍を見た

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

果敢たる死闘を

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

卅五萬留

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

威作ワクチンの起原

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

彌生町敷業組合

四十一

九
年
十
月
口
日

[illegible]

本館爲眞珠文會社朝鮮代理店
大正館

る八月十三日より特別大提供
「食」ツイジ！島嶼火の宵と

「クリスマスの失策」長日

新派「俠江戶龍」全五卷

は新機一流の人望を符負てゐる
意地も飛もある生粋の江戸前

妙刀戸の力を用ゐて、くわを以て、
掘たる果敢なき生涯は、情緒國の
悲痛擁りなき情界實話

連続「人間タンク」

全十五篇の内第九、十篇は四
エレベーターに墜死せられん

せし隙一髪を以て其位を奪ひ
とせしは何者ぞ登々出てゝ慰
驚奇

日本武士道の宣傳者を以て任じ
松上松之助新作義士劇

の漢書「亦恒而」全

ある壯なる彼の全人格は全篇
輝きして餘蘊なし

本町一丁目
電話五九七番
吉野 喜樂米店

富る月十三日、上り船、
は寫アイヌランド奇觀無好
尚秘ビルの復讐

塙直之諸巡遊記

天下の三大浪人武家幸村秋山
なつて諸國を放浪し武勇を現す

大坂に人入より紀州堀へ駈に壯
な戦死を遂げた天正の怪傑が面

(一) 奇怪ある連兩拜儀大正

九局 十區 四處止

解決せんとする高麗船々出て
怪異の大巨段丁丁の程手
宗魯二夜及び腹象の變未因の

○月 向島派本月完成富嶺封鎖

新派
戀慕流し 全

朝に渡られたは家禪、頭の日
 と日も定めと影の如く現はる
 百年 そろくくと秋のらす葉

一、曲體々として盡くる事なき
は深し無窮なかし……

る八月拾九日初日午後六時

壽

第壹笑劇
第貳喜劇
三つ組の壺

第四新喜劇 生さぬ母 二二

100

山崎商店
東京下町
（各地支店）

やせ
害なくばよ
やせる薬
（各支店）

コレラ豫防に
登録商標許可済

山崎商店
東京下町
（各地支店）

山崎商店
東京下町
（各地支店）

やせ
害なくばよ
やせる薬
（各支店）

コレラ豫防に
登録商標許可済

山崎商店
東京下町
（各地支店）

[illegible][illegible]

東 嶗屋製

最上



醬油

第一質品

多味噌

(可 樽 四 錢 貳)

人間一生の一大事御參考迄に
電話二五〇八番 御呼出願奉る

▲コレヲ軍京城に侵入す!!
▲ポートワインを召上れ!!

生命を重する人は
腸胃の殺菌力強き
佛國マリーコン會社
釀造(外金參圓)

ハカリ賣一合金參拾錢五合以上配達仕り候

發賣元 丸富商店
京 城 本 町 五 丁 目
電話二五〇八番

最新刊

演說武者修行

附 政界游泳錄 我が雄辯術

四六版布製
百八十八頁
綴ルビ附
定價壹圓
送料拾錢

蒙古通信社長 眞繼義太郎著 東京 先進堂發行

天下を取るの術、昔は劍を按じて起ち、今は三寸の舌を以て起つ。天下取らうの志も、空しく水泡に歸した著者は、心機一轉、今は大陸の奥、蒙古に在りて、専心蒙古開拓に耽る。本書は著者半生の擲筆し、懷悔録とも申すべき歟。後の志を同じくする人々の爲に、此の一本を作る。

とは若輩の勵戒の一助である。青年浪士と稱つた浪人團の一聯隊を出して蒙疆を開拓しようとしたのを、時に、雖も本邦政府の承認を得ず、ヤウと勝手な行動で、一時は頗る威風凛々としてゐたが、終には、彼等は、慷慨激越、天下國家を痛憤論議すると云ふ、黨派の私闘を排し、統一の道を探求する、演説會の樂屋囃。是は單身劍を按じ遊ばへる者に、長請獨演五時間と號して一文をたゞ天下を周遊した當時の述懐。蒙疆開發の全貌、吾等以て天下取らう諸君に授けり。参考書。「鐵」を包む蒙疆の事情を詳らかに僕は今一度、蒙疆天下を巡視せたいと思つてゐる」とは彼等の熱い希望の結晶である。

取次店 京城府太平通二三丁目 釜山日報京代理部 大坂屋號。日暮書